

コロラド州立大学 (CSU) USA : コロラド (春季)

菊池幸男・すみ子（神奈川県海老名市）

滞在期間：2018年3月15日～5月17日

活動場所：アメリカ合衆国コロラド州



コロラド州立大学 (CSU) にて、日本語科の日本語アシスタントをボランティアで体験しました。

CSU 文化ワークショップ 3年

1. CSU&フォートコリンズ&デンバーという町

CSU はコロラド州の州都デンバーの北約 100 km、人口約 13 万人のフォートコリンズにあります。1 マイル (1,600m) 四方の広大な土地に講義棟、教職員棟、研究室棟、学生センター（学食、売店、テラスなど）、体育館、グラウンド、アメフトスタジアムなどの建築物があり、樹齢 100 年以上はありそうな古木に囲まれた芝生の空き地が広がります。他に北棟、南棟、芸術学部棟、ホールなどもあるようです。学生数 2 万 5 千人のマンモス校？です。



CSU 構内

樹木とグリーンが印象

お世話になったアパートは、「講義棟、教職員棟」から徒歩約 20 分位の所にあり、交通の便が良い位置にあります。赤い建物が目印で、とても目立ちます。1 階はタト屋で、その 2 階が WSC 日本語ボランティアの方々が住むアパートです。そのうち、広い方が D1 ルーム (2LDK) で、ほぼ何でも揃っているアパートで、自炊設備があり余裕を持って生活ができます。



アパートの全景

フォートコリンズは、全米でも住んでみたい町の上位に選ばれるほど治安が良く閑静な町です。4～5 年前町の中心部を南北に走るバス路線「MAX」ができ、たいへん便利になったということです。10 カ所位のバス停があり、それぞれ特色のあるエリアを作っています。私どもは、ほぼ毎日スーパー、レストラン、古着屋・中古品店、お土産屋、中心街の「オールドタウン」などを巡って過ごしていました。寿司メニューを含む和食・アジア食レストランが多く、またタイ料理店、メキシコ料理店などもあり外食では困らないです。普段は、アパートでご飯を炊いて肉や野菜などを買ってき

て料理をし、食事をしていました。昼食はおにぎり持参、学食もありますがたいへんに混んでいて、時には利用しましたが、弁当持参が無難です。

フォートコリンズでは、車がないと孤立してしまう町です。町の南には、新しく立派な住宅が建ち並んでいました。デンバーへは通勤バスが早朝走っていて、何回かを利用してデンバーの街歩きを楽しみました。途中では、西方向の車窓に頂上に雪を頂いたロッキー山脈が見えました。

交通の起点「デンバー・ユニオン駅」で下車、「16番ストリート」、「コロラド州議事堂」、「アメリカ造幣局」、「モーリーブラウン・ミュージアム」、「デンバー自然科学博物館」、「ユニオン駅」などが見所です。

「モーリーブラウン・ミュージアム」は、タイタニック号の生還者として知られるモーリー・ブラウンの家



デンバー自然科学博物館

古生物の化石

で、博物館として公開されていました。無事生還したブラウンは、女性の生活の改善や慈善活動に努めていて、その軌跡を垣間見ることができました。一見の価値あります。

2. 1～3 年生の授業・文化ワークショップ

日本語の授業は月～木の 10 時～15 時まで 50 分単位で授業が行われています。

☆1 年生はベーケン先生とキム先生が担当

ひらがなやカタカナ、文法などは学習済みで、引き続いての学習が続けられています。漢字の学習そしてテキストに沿った会話の学習が中心で、私どもは日本語会話を示したり、会話練習の時に相談に乗ったり、学生の会話に加わったりして、何とか役割を果たしました。

☆2 年生コリンズ先生、3 年生ベーケン先生が担当

日本語の基礎ができつつあり、いろいろな日本に関する話題提供や現在の日本人の話し言葉など、学生に興味を持って頂くようにし、日本の現実などをお知らせしました。

分厚いテキストを 1 年間で仕上げるので、毎時間の授業・宿題・週末のテストなどで鍛えられています。授業は、1、2 年生は毎日、3 年生は週 3 日あります。毎日コツコツと学習する学生と、そうでない学生との差が出てくるようです。2～4 年生の中には、日本旅行をする学生達もいます。

☆「文化ワークショップ」

4 月の上旬に、いろいろなテーマで行われました。

- ①浴衣の着付け
- ②空手
- ③狂言
- ④折り紙



ベーケン先生
お世話になりました



CSU 文化ワークショップ 2 年

⑤紙芝居 ⑥書道 ⑦料理 ⑧茶道 ⑨生け花など多彩なテーマが提示されます。学生はそのうちの1つを選び、「調べる」、「まとめる」、「演じる（発表する）」を行います。私どもの他には、地域にお住まいの在米日本人の方々がお手伝いに参加していて、貴重な戦力だと思いました。私は狂言の発表にかり出され、楽しませて頂きました。

3. 花金のイベントとジャパンカップのこと

☆花金のイベント

隔週の金曜日、談話コーナーに学生達が集まって日本語の会話が行われます。日本語しか使ってはいけない時間で、私は日本文化の紹介、交流を用意しました。

①日本の歌……時期的に「春の歌」が相応しいと思い、何曲かを歌詞とCDを準備しました。「春が来た」、「チューリップ」、「ちようちよう」、「ぶんぶんぶん」、「さくらさくら」などです。やさしく、日本の春らしく、覚えやすい合唱に相応しい歌を選びました。

②将棋……この時期には、日本で中学生の天才棋士「藤井聰太」君の話題が沸騰していましたので、彼を取り上げて紹介しました。準備していた将棋の駒と将棋盤で将棋の基本的なルールを説明し、3年の男子学生と実際に指しました。皆さん興味を持たれたようです。

③なぜ、日本語を学ぼうとしたのか、気になるテーマなので何人かの学生に問いかかけました。「日本を旅行したい」、「日本の車について日本人と話したい」、「将来は日本の大学院へ進学して日本の企業に就職したい」などの答えが返ってきました。日本語を学ぶきっかけは、「日本の漫画、アニメ」が大好きという動機が多かったです。

☆ジャパンカップ



ジャパンカップ優勝記念写真

勝つ丼（カツ丼）作りに励む筆者

コロラド州内の学生（日本語学習2年目）が一堂に会して、日本に関する事、日本語に関する事などの知識を競う大会です。例年CSUの学生は良い成績を上げてきたそうです。今年度も優勝と第3位を獲得しました。勝敗だけでなく、2年の学生が日本について真剣に学んだこと、上級生が応援&指導に加わった成果が出たものと思います。もちろん、私どもの作った勝つ丼（カツ丼）がエネルギー源だったのかも……？

☆ランゲージキャンプ

日本語で学ぼう・楽しもうという趣旨で日本語学習者、先生方、ボランティアの方々など40数名が集まり、いろいろなゲームや神経



お世話になった
クリスティンさん

衰弱、早口言葉などを競い楽しみました。企画・運営は、日本人留学生と日本語を学んだクリスティンさん達です。皆さん、日本の情報をネットやYouTubeなどでよく調べているようです。

☆ボランティア期間の前半は時間に少し余裕があったので、市内散策やデンバーへ出かけたりしました。後半は映画アニメ「メアリーと魔女の花」の鑑賞、カラオケコンテスト、多言語詩の朗読会、授業で使う絵カードの作成など結構忙しい日々を過ごしました。



家内の授業用絵
カード

4. 現地の情報

①市内を走るバスは、「MAX」の他に10路線以上あります。バスターミナルは、オールドタウン近くと大学構内にある「トランジットセンター」です。バスの年間パスポート（25ドル）を購入すると、たいへんお得に利用することができます。

②デンバーへ日帰りで行く際、土日はバスの便が悪いので平日がよいようです。バス会社はBustangといい、ここでのチケットを購入しますが、シニア料金で往復15ドルと安い料金でした。デンバーでのお勧めの場所は、先述した通りです。

③フォートコリンズでのお勧めは、「オールドタウン」、「ビールのブリュワリー（醸造所）見学」、「フォートコリンズ Museum of Discovery（科学史、人類史、山火事）」、「トレイル散策・ジョギング・サイクリング」、「いくつかのスーパーマーケット、各種レストラン」、などです。

④アパートのすぐ前には、貨物列車専用の線路があります。この線路には、遮断機や警報機はありません。昼夜問わず、けたたましい警報を鳴らして通り過ぎて行きます（3~5分）。200両くらい連結していることもあります、その時は忍耐の時間ですね。

⑤フォートコリンズは寒暖の差が大きく、4月一杯までダウンコートは手放せませんでした。時々雪が降ったり、強風が吹いて構内の古木が倒れたり、時にはポカポカ陽気になり、女子学生の中にはタンクトップ・短パンの姿も見られビックリしました。3~5月という時期は、冬から春にかけての季節の移ろいを感じることができ、構内の花壇や沿道の野の花、樹木の花々の美しさ・変化を楽しむことができました。

5. CSUでの活動をなさる方々へ

①たいへん充実した日本語ボランティアに参加でき、有意義な時を過ごせたことに感謝しています。

②日本文化の提示や交流の時間があまりないので、しっかり準備をしておいて、チャンスが来たら素早く実施できるようにした方がよいようです。

③食事は自炊中心とし、時々レストランと学食を利用するのがよかったです。中華料理のパンダエキスプレスには、お世話になりました。

④10日間ほど日程に余裕ができたので サンフランシスコを訪問しました。初めての訪問で目一杯歩き、ヨセミテ国立公園にも行けラッキーでした。